

Hyogo大好き!

vol.2



スペシャル対談

尼崎市長 × 相崎佐和子



川西市市長 × 相崎佐和子



稲村和美(尼崎市長)×相崎佐和子

“ともにつくる街づくり”がモットー

相崎

市長になって早9年目ですね。どんなポリシーで街づくりに取り組んでいますか。

稲村

“ともにつくる”がモットーです。阪神・淡路大震災の学生ボランティア立ち上げから、県議・市長と一貫して、“自分たちの街は自分たちでつくる”という住民自治を大切に取組んでいます。行政の仕事を少なくする、住民に任せっぱなしにするわけではありません。行政はその責任と役割を果たすため、不断なき改革に取り組めます。多くの方に活かしてもらえる市役所でありたいですね。

相崎

“行政が決めて住民が従う”から“一緒にやっぴいこう”へのシフトチェンジですね。伊丹市でも地域力の向上を実感しています。尼崎市と伊丹市の住民で連携しての街づくりも進めていきたいものです。

稲村

市境では合同で防災訓練を実施している例もありますよね。防災はじめ防犯や観光でも連携の可能性は広がっていると思います。伊丹は清酒、尼崎は菰樽(菰を巻いた酒樽)の産地なので、お酒関連での連携もおもしろいですね。

県政は市町のバックアップを!

相崎

市長の前は県会議員を2期務められました。



稲村和美

1972年11月まれ
神戸大学大学院
法学研究科修了
証券会社勤務
兵庫県議会議員(2期)
尼崎市長(3期目)

県議時代は何に力を入れていましたか。

稲村

県財政が特に厳しい時代でしたから、財政改革をメインテーマにしていました。予算案に反対する事も多かったのですが、県債(借金)を減少させる行財政改革プランには賛成しました。県職員さんは私を「財政に詳しく、本気で健全化に取り組む議員」と認識してくれたようで、前向きで真剣な議論を重ねていたのを覚えています。

相崎

稲村さんも賛成した改革プランを進め、県財政は2018年度に震災後初の収支均衡を達成する見込みです。ただ予断を許す状況ではなく、新行財政プランでの取り組みを進めねばなりません。稲村さんはなぜ財政をメインに取り組んだのですか。

稲村

私に求められた役割だと思ったからです。県議会は、県内の多様な地域から県議が選出されます。それぞれが担う役割も多様なんですよ。もちろん地域の声を県政に届けることが基本であり、1人区選出の議員はそれがメインになるでしょう。一方で尼崎市は7人区ですので、地域の声をあげる役割は分担できます。私は財政について関わることができる状況であり、求められる役割ではないかと思いました。

相崎

県議がそれぞれの役割を果たすことが、県議会全体の機能向上に繋がるのでしょうか。市長として県政に求めるものは何ですか。

稲村

兵庫県は多様性に富んだ県であることに加え、一律で物事を進められる時代ではなく、それぞれの地域の特性を活かした街づくりができるように、環境整備などバックアップをしてほしいですね。

多様な声が届くように

相崎

稲村さんは、子育て中の女性市長。市長就任時は、自転車で子どもを保育所に送って登庁する様子が話題になりました。そんな状況は政治にどう影響しましたか。

稲村

女性や母親である立場を必要以上に強調はしていません。ただ、子育て世代や若者の声が政治に届くことはとても意義があると思っています。私のような状況の者が市長であることで、多様な人々が政治に関心を持って声を上げるきっかけになれば嬉しいですね。実際にそんな動きもあって、住民自治を目指す私としては感激です。そして女性や子育て世代の政治家がもっと増えたらと思っています。後に続いてほしいですね。

相崎

多様な人の様々な声を活かした、誰もが生きやすい街をみなで一緒に創っていきたくですね。私たちができること、すべきことは多くあります。ともに力を尽くしましょう!

対談を終えて

自身も子どもも同じ年で、昔から親友の稲村さん。対談後はプライベート話(子どもの学校生活、自分たちの健康...)に花が咲きました。一方で、尼崎の街づくりや住民自治の話になると、ほとぼる情熱で熱く語る様子が、改めて感服しました。切磋琢磨しながらいっそう連携していこうと固く握手を交わしました。



越田謙治郎(川西市長)×相崎佐和子

多くの声を市政に

相崎

市議2期・県議2期を経て、市長へのご就任、おめでとうございます。市長になられていかがですか。

越田

議員時代は、全体を見渡しながら声を上げることに力を注いでいましたが、市長はそんな多くの声を聞いてベストな策を決定する立場です。責任の重さを改めて実感していますね。住民から多くのお声をいただきたいし、市議会からしっかりした声をいただくことも必要だと思っています。

相崎

市議会といえば、川西市議会は女性議員が増えましたね。

越田

市長選挙と同時実施だった昨年秋の市議会議員選挙で26人中10人が女性になりました。いろんな視点がより入るようになったと期待しています。厳しい意見も大歓迎です。

住民の声に寄り添う県政を

相崎

県議は7年半務められました。取り組んだことやモットーは何ですか。

越田

一貫して行財政改革に取り組みました。心がけていたのは、役所で仕事をする議員ではなく、住民の声に寄り添う議員ということです。特に県政は住民から遠くなりますからね。住民の声を丁寧に聴き、市や町

ではできないことを県や国で取り組まねばなりません。そういう意味で、住民の声を聞くタウンミーティングは大事にしてきました。100回以上は開催しましたね。

相崎

県政においても基本は住民の声ということですね。市長として県政に求めることは何でしょうか。

越田

1つは、専門性を活かしての市のサポートです。例えば病院の建て替えについて、県は各地で県立病院を持っているのでホットなノウハウを持っているんです。県の財産である専門性を市でも活用できるよう、サポートをお願いしたいですね。

もう1つはコーディネートです。基礎自治体の取り組みが近隣で過度な競争になったり、基礎自治体が各自で声を上げるので全体としてまとまりに欠けていたり・・・地域医療や地域経済の分野にありがちです。そこを県が調整してくれると助かります。仲人になってほしいですね。

相崎

越田さんは県議時代、議会改革にも取り組まれました。

越田

県議時代はまさに、号泣議員に端を発して兵庫県議会のあり方が厳しく問われた時期でした。越田単独ではなく議会全体の信頼回復をと議会改革に努めたつもりです。2015年の議会改革度ランキング(都道府県議会)では兵庫県議会が1位になりました。ただし、歩みを止めた時点で改革は落ちていきます。県議会の改革は不断に続けてほしい。「兵庫県議会、がんばってるやん」と言われるよう、これからの県議の皆さんに期待しています。

「市民の政策」は力強い!

相崎

越田さんといえばマニフェスト。対話を重ね

て練り上げた政策を市長選挙で掲げたことは印象的でした。

越田

政治家でも、気づかないことや知らないことは多くあります。みんなで創った方がよりよい政策になる。市長選挙で掲げたマニフェストは、タウンミーティングで対話を重ねて作り上げた政策です。「越田の政策」ではなく「市民の政策」なので力強いですよ。

相崎

越田さんは「ローカル・マニフェスト推進連盟」の共同代表も務めておられました。私がバトンを引き継がせてもらい、身の引き締まる思いです。

越田

政策本位の政治を地方から進めることを目的とした、全国の議員など約850名が加盟する連盟です。マニフェスト大賞を受賞したご縁から、共同代表を務めていました。同じくマニフェスト大賞の受賞者である相崎さんにバトンを渡しましたので、善政競争を進めるべく頑張ってくださいね。

対談を終えて

隣市の若手議員同士として以前から交流が深かった越田さん。もともと熱い人でしたが、いっそうパワフルになっていました。川西市長として目を輝かせながら語る様子に、こちらも大いに刺激をもらいました。県政はもちろん、引き継がせてくれた「ローカル・マニフェスト推進連盟」の共同代表も頑張ることを約束しました。



越田謙治郎

1977年9月生まれ
同志社大学法学部卒業
教育関連企業勤務
川西市議会議員(2期)
兵庫県議会議員(2期)
川西市長(1期目)

誰もが“望む生き方”ができる社会に！ 私たちの声を県政に届けましょう！ 相崎 佐和子

Profile

- 1973年 3月19日生まれ
- 1991年 親和女子高等学校 卒業 ※コーラス部で指揮者
- 1995年 奈良教育大学(小学校課程社会専攻)卒業 ※体育会水泳部
- 1997年 “ 大学院(社会教育研究科・政治学専攻)修了
- 1997年～ フリーアナウンサー
※ORIXブルーウエーブのマスコットガールも経験
- 2000年～ 地元ケーブルテレビ(現ベイコム)・アナウンサー
※地域TV番組に多数出演
- 2003年～ 第12代・兵庫県広報専門員
※県の広報番組(TV・ラジオ)に多数出演。式典の司会・広報の企画も。
県下のCATVでは「さわこのHyogo大好き!」が放送。
- 2006年～ 伊丹市立中央公民館・事業推進委員会事務局長
※公民館の委員会事務局長として、ユニークな講座の企画など
- 2007年～ 伊丹市議会議員(1期目)
- 2011年～ 伊丹市議会議員(2期目)
- 2015年～ 伊丹市議会議員(3期目)
- 第61代 議長(2015年～2017年)
※40代前半&子育て中の女性議長として東奔西走。
※阪神市議会議長会の会長・全国民間空港所在都市議会協議会の会長も
- 2016年「全国マニフェスト大賞2016」優秀賞受賞
※全国最大の政策コンテストにて応募数2514件から優秀賞受賞



- 2018年～「ローカル・マニフェスト推進連盟」共同代表
※全国約850名の議員が所属する連盟の共同代表(全国4人)
- 2018年～「出産議員ネットワーク」関西ブロック代表
※議員として出産を経験した地方女性議員でつくる会の関西代表
- 家族:夫(同じ年)・長女(2005年生)・次女(2009年生)
- 趣味:読書・水泳
- 資格:小学校・中学校(社会)・高校(地理歴史) 教員免許
- 健康状態:極めて良好(中高時代は無遅刻無欠席)

枝野幸男
立憲民主党 代表

「伊丹にはいい人材がいるね」とエールをいただいています。

桜井周
立憲民主党
衆議院議員
兵庫県連代表

伊丹市議時代の同僚ゆえ、親しみと信頼は抜群。国との連携は強いです。

藤原保幸
伊丹市長

連携しながら伊丹市の向上に力を合わせて取り組んでいます。信頼しています。

井戸敏三
兵庫県知事

兵庫県広報専門員時代にお世話になり、今でも励ましていただいています。

合同大演説会

相崎はじめ、衆議院議員・会派の市議会議員などの合同演説会です。私たちの熱い想いをぜひお聞かせください！

3月25日(月) 18:30～
東リいたみホール大ホール

参加費 無料

情報はここから

- ★ホームページ <http://sawako-aizaki.com>
- ★ブログ <http://yaplog.jp/sawako-aizaki/>
- ★フェイスブック <https://www.facebook.com/sawako.aizaki>
- ★ツイッター ★インスタグラム

活動 ニュース バックナンバーは上記HPに。郵送希望はご連絡を

毎日更新中!

相崎佐和子の「兵庫県政ビジョン100」は「Hyogo 大好き創刊号」に掲載。ご希望の方は右記にご連絡ください。

連絡先

〒664-8503
伊丹市千僧1-1 伊丹市議会内
電話▶090-8528-3870
FAX▶072-772-2247
メール▶sawako-aizaki@hcc6.bai.ne.jp